

いの町史編さん室だより (No.11)

「いの町史編さん室だより」は今回で11回目になります。毎回、町史編さん作業で知り得たことや体験したことなどを町民の皆さんに紹介していますが、いかがでしょうか？平成26年の町の合併10周年を目標に「いの町史」の編さんを進めている町史編さん室では、町民の皆さんが参加する町史づくりを目指しています。つきましては、町史編さんに役立つと思われる資料・写真などがあれば、ご連絡ください。

それでは、今月の意外と知らない話をどうぞ。

ちよつと調査の話

編さん委員 松本 健市

「長沢ダム湖の珍現象」

町史編さん室から広報の原稿を頼まれいろいろ考えた末、ダム湖で起きている珍しい現象について書いてみることにします。

長沢から県道40号(石鎚公園線)を吉野川に沿って北上すると12km位で越裏門というところに着きます。その途中に国の重要無形民俗文化財の本川神楽が12月に奉納されている白髪神社が山手に見えてきます。その神社がある前から上流方向に向かって500m位の範囲内でダム湖面に白い泡のようなものが漂っていることがよくあります。この泡の正体は、ブラックバスや鯉などの魚の産卵の跡かなと思いつつ道路を行き来していました。

ある日、偶然にもその珍現象の場に出くわすことになり車を停めて見ていると、最初、小さな泡(気泡)が無数に出ており、下から何か出てくるのかと思いきや、その泡が突然塊りになって噴火(少しオーバーかも)した様になり、水面が5cm位盛り上がりました。そしてこの現象が10秒位続き、その跡が2m位白い輪になって漂いました。最初は何が起こったのかと呆気に取られていたのですが、よくよく観察してみると、どうもその正体はメタンガスようです。

この場所は、ダムが建設されることにより移転された白髪神社の跡地だそうです。長い年月が経ち、土の下にあった木の株や上流から流れてきた落ち葉などが腐って発生したガスが、地中の中である程度たまった末に絶え切れなくなって水面に噴出する現象のようです。

他のダム湖でも小さな気泡がぶくぶく出ているのはよく見かけますが、これほどまとまって出てくるのは珍しいと思います。冬場は見られませんが、水温が上がる初夏から晩秋までにはよく見られます。

実際にこのガスを採取して調べたことはありませんが、たぶんこれはメタンガスで、火を付けたら燃えると思います。(代替エネルギーとしての利用価値は?)

今は渇水期でダム湖の水が少なく、平らな丘になって見えますが、よく見ると斜面部分にガスが出た後が剥かれた様になっている所があります。

石鎚山や町道瓶ヶ森線へ遊びに行かれる時は、越裏門の手前の神社前から上流500mの湖面に気を付けて見てみてください。偶然にこの珍現象に行き当たれば何か良いことがあるかも知れません。



情報提供のお願い

吾北の堰の建設について

吾北地区では、田んぼに水を引くための堰がたくさん見られます。柳野から高岩までの小川川では、柳野本村、川原田、新別野竹、堂ノ本、突合、瀬越などにあります。また、寺野から小申田までの上八川川では、野地、有実、内野、古江、長磯、連行、小申田などにあります。

こうした堰は、伊野、本川地区ではあまり見かけません。堰の建設のいきさつや経過について情報提供をお願いします。ご連絡いただければ聞き取りに伺います。

問い合わせ・連絡先

社会教育課 町史編さん室 (内線 31)

☎ 893 - 2012 ☎ 893 - 2013

いろんな情報
をお待ちして
います。



盆提灯・ト一口

多数展示してご来店をお待ちしております

県内配達無料・県外へも発送できます

家紋入り提灯のご予約も承ります

水棚一式 ¥29,800

お仏壇も
特価でご奉仕中!

有料広告

仏壇・仏具・神棚・神具

おおくら仏具店

いの町新町15(高知銀行斜め前)

tel 088-893-0122

営業時間

午前9時～午後7時